

「IT製品販売者と連携を」

長崎でDXセミナー

デジタルトランスフォーメーション(DX)に関するセミナー(長崎工業会、県情報産業協会、長崎商工会議所主催)が14日、長崎市内で開かれ、約50人の聴講者がシステムやソフトウェアなどのIT製品を販売する「ベンダー」との接し

方について理解を深めた。地元企業の情報技術推進を目的に開催。ベンダーのEコマース工業(本店佐世保市、本社福岡市)の渡邊哲之執行役員は、DX推進の注意点を説明した上で「有識者に伴走してもらうことが効果的。委託範囲を



県内企業のDX事例を紹介したセミナー
＝長崎市筑後町、ホテルセントヒル長崎

ふるさと

経済

明確化して、必要な部分を外部の専門家と連携すること」をアドバイスした。システムック井上(長崎市)の村井浩一執行役員は、製造業のDX事例を紹介し「将来のありたい姿」を掲げた

上で進めたとして「ベンダー」と目標を共有し、二人三脚で取り組むのがいい」と助言した。県のDX支援施策の説明もあった。

(中島崇雄)